

令和4年第1回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和4年3月定例会

| 順序 | 議員名 | 要旨 |
|-----|-------------------|--|
| 1 番 | 佐々木常子 (一問一答方式) | <p>1 シビックプライドについて 【質問のねらい】 住民の皆さまが暮らしやすい良い町にしていくために、住民参加のまちづくり地域コミュニティの活性化を進めていくにはシビックプライドの醸成が必要である。 【質問項目】 (1) 町長のシビックプライドの醸成について見解を伺う。 (2) 当別町のシビックプライド醸成の取組状況について伺う。</p> <p>2 除排雪について 【質問のねらい】 異常気象があたりまえのように続く状況においては、除排雪体制の改善が必要である。 【質問項目】 (1) あまりにも除排雪作業が間に合っていない。どうか業者を増やす事はできないか。 (2) 多くの町民から置き雪の処理について困っているとの声があるが、歩道用除雪機を使うなど、各家庭の出入口をあけることができないか。費用負担してでもなんとかならないか、という声もあるが伺う。</p> <p>3 動物愛護管理思想の推進について 【質問のねらい】 野良猫を救いたい、野良猫で迷惑している、との声があるが、当別町としても動物愛護管理思想の推進に取り組んでいく必要がある。 【質問項目】 (1) 北海道の今後のあり方として動物愛護団体等と継続的に連携する仕組みの導入、より多くの関係団体等が連携して動物愛護管理思想の推進に取り組む機運を醸成していくとあった。当別町においても、野良猫を救っていく具体的な仕組み、方法、手順など構築していく必要があると思うが、現状と今後の取組を伺う。</p> |
| 2 番 | 鈴木 岩夫 (一問一答方式) | <p>1 新型コロナウイルス感染症対策と医療体制の確保について 【質問のねらい】 感染拡大が継続している。オミクロン株の特性に応じた保健医療体制の構築が求められているが、現場の努力・対応だけでは追い付いていないのではないか。 【質問項目】 (1) 全国知事会が求めた全体像の見直しを含め、全般的対応方針の明確化に照らして当別町の現状はどうなっているか伺う。 (2) 医療ひっ迫の現状を踏まえ、危機的状況が町民に正しく認識されるよう再度町長から強く発信すべきと考えるが伺う。 (3) ワクチン3回目接種の現状と早期接種のための課題、今後の方針を伺う。 (4) 道が実施している無料のPCR検査・一般検査事業拡大の見通しを伺う。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>(5) 保育士や教職員等に定期抗原検査の実施を道・国に求めるべきではないか伺う。</p> <p>(6) 新年度予算に医療・介護施設への経営支援策がないのは何故か伺う。</p> <p>2 水田活用の直接交付金見直しと当別農業・地域の将来像について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>水田活用の直接交付金見直しは、農業関係者のみならず不安を与えている。不安の解消と地域・集落の維持・継続にも視点を当てた解決が求められる。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 1 月実施の作付計画の結果が令和 4 年度再生協議会水田収益力強化ビジョン、農業 10 年ビジョンへの影響について伺う。</p> <p>(2) 不安を抱える農家への相談窓口を農協と連携して設置すべきと考えるが伺う。</p> <p>(3) JA バンクやガソリンスタンドなど社会インフラの撤退に結び付かぬよう集落の維持・継続にも視点を当てた見直しを国に要請すべきと考えるが伺う。</p> <p>(4) 当別町の将来がかかった問題であることから町挙げて運動をすべきと考えるが伺う。</p> <p>3 国保税の引き下げについて</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>コロナ禍に物価や燃料の高騰、年金の切り下げが追い打ちをかけている。これ以上の負担は限界だ。国の負担を元に戻し、制度の抜本的改革を。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 基金を取り崩し引き上げをやめるべきと考えるが伺う。</p> <p>(2) 均等割り未就学児半額国負担を就学児まで拡大することを国に求めるべきと考えるが伺う。</p> <p>(3) 全国知事会が求めるように国の負担を大幅に増やし、制度の抜本的改革を求めるべきと考えるが伺う。</p> <p>4 風力発電所建設計画について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>現在進められている風力発電建設計画は、到底住民の合意は得られていない。住民合意の得られていない計画は撤回しかない。そのための町としての方策は。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 北海道に上げる「方法書」に対する町の意見は、どのような内容か伺う。</p> <p>(2) 「方法書」の次は「準備書」の段階になっている。ここでも町の意見を道に上げることになっているが、どの段階で町の態度を明確にするのかを伺う。</p> <p>(3) ゼロカーボン推進計画策定事業業務委託における再生可能エネルギーの導入量に風力発電は含むべきではないと考えるが伺う。</p> |
|--|--|---|

| | | |
|------------|---------------------------|---|
| <p>3 番</p> | <p>山崎 公司 (一問一答方式)</p> | <p>1 新型コロナ禍での課題について 【質問のねらい】 道内での最初の感染者は、一昨年1月28日、町内は5月2日。すでに2年が経過した。長引くコロナ禍による町内の課題についてどのように対応しているか質す。 【質問項目】 (1) 町内でコロナ感染者が1月132人2月127人と大幅に急増している。小・中学校、役場庁舎、高齢者施設と感染予防対策を独自にどのように徹底されているのか伺う。 (2) 危機管理担当者とワクチン接種担当部門、感染症対策部門の3部門間で日頃の連携が十分に機能しているか伺う。 (3) 新型コロナウイルス感染症拡大の収束の心配がない。給付金・ワクチン接種を進めているが、次々にやってくる感染の波に対して今後、どう対応すれば良いと考えているのか伺う。 (4) 孤独や孤立、ひきこもり、不登校、いじめ、虐待、ヤングケアラー、生活困窮などの問題が深刻化している。相談・指導を具体的に継続されているか伺う。 (5) コミュニケーション不足の為、生活習慣病や認知症、要介護者の介護度が進んでいると思われるが、どのようなケアをされているか伺う。</p> <p>2 スウェーデン大通り歩道の整備について 【質問のねらい】 スウェーデン大通りは、太美から獅子内まで平成5年3月に開通し、すでに29年経過する。道路の両面に歩道がありマツ科のトウヒ・街路灯・電柱があり、樹木は電柱・電線より高くなっており、歩道はインターロッキングで草が生え、デコボコ状態。今後の改修計画と無電柱化を提案し、検討を質す。 【質問項目】 (1) 歩道改修計画を具体的に住民に対し内容・期間等を説明する必要があるのではないか伺う。 (2) 歩道を改修するに当たり、すっきりと樹木を全部伐採するか、強風時は電線にぶつかるので間引きするか。同時に樹木の品種を変更するか。さらに、電柱を撤去し街路灯だけにするかを住民の声を聞き、検討して欲しいと思うが伺う。 (3) 防災面、安全・円滑な交通確保、景観形成、観光振興の上から無電柱化などを検討してはどうか伺う。</p> <p>3 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について 【質問のねらい】 スポーツ庁は、小学5年と中学2年の全児童・生徒を対象に、2021年度の全国体力テストの結果を公表、2020年がコロナ禍で中止となり実施は2年振りです。当別町の結果と対策を質す。 【質問項目】 (1) 今回実施された町内の小学校・中学校の「体格に関する調査」、「体力・運動能力（実技）に関する調査」、「運動習慣・生活習慣」の調査結果について伺う。 (2) これらの課題解決のための「当別町体力向上プラン」について。</p> |
|------------|---------------------------|---|

| | | |
|-----|---------------------------|---|
| | | <p>① 北海道医療大学と連携した「体力向上プロジェクト」の実施とあるが、具体的にどのように実施されたか伺う。</p> <p>② コミュニティ・スクールによる児童・生徒の体力向上に向けた地域行事等の充実と生活習慣改善の啓発とあるが具体的にどのように実施されたか伺う。</p> |
| 4 番 | <p>稲村 勝俊 (一問一答方式)</p> | <p>1 当別町農業政策について 【質問のねらい】 当別町農業の現状、水田活用の直接支払交付金見直しにより想定される対応方向と影響、人、農地プランの基礎調査概要と推進課題について検証し持続可能な当別町農業将来像の合意形成を図り共通認識とし継承可能な当別町農業構築のため。</p> <p>【質問項目】 (1) 当別町農業の現状（転作等）の認識について伺う。 ① 転作率 75%（過去 10 年間で 3%増）。需給調整等のため年々耕作率は減少していく。 (2) 水田活用の直接支払交付金見直しによって次の課題が懸念されるが町長の認識を伺う。 ① 転作個別自由選択と全面転作農家の高比率。 ② 休耕率の高さから交付金減少が大きい。 ③ 土地評価額の下落による担保評価低下の課題。農協、自治体。 ④ 交付金を前提とした農地の賃貸、売買の在り方。交付金対象農地と非対象農地。 ⑤ 土地改良区の維持管理等。 ⑥ 畑地化推進課題、水稻と転換作物のブロックローテーション田畑輪換体制。 ⑦ 需要に見合った米の生産、生産目安の遵守と復元田急増による米価と品質。 ⑧ 当別町農業への影響調査と対応方向、(個人、地域、自治体) 高齢化と共に耕作放棄が想定される。 ⑨ 多年生牧草に対する交付金単価見直しによる減額の対応。 (3) 人、農地プラン実質化について ① 基礎調査概要について。 ② 推進課題について、地域計画策定と水田活用直接支払交付金見直し対応方向との連動と整合性の考え方。 (4) 当別町農業将来像について 持続可能な安定的農業生産が継続していくためには、将来構想をつくり、農業経営者間の共通認識を醸成していく事が大切と考えるが、町長の考えを伺う。</p> |
| 5 番 | <p>佐藤 立 (一問一答方式)</p> | <p>1 公園施設長寿命化計画に基づく公園遊具等の整備について 【質問のねらい】 当別町の公園施設の大半は老朽化が進んでいることから、平成 29 年度～令和 8 年度までの 10 カ年の公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の更新に取り組んでいる。これまでに、阿蘇公園とライラック公園に大型コンビネーション遊具が設置されてきた。しかし、令和 3 年度から同計画に基づく事業が予算化されていないことから、今後の方針について伺う。</p> <p>【質問項目】 (1) チャイルドファーストの観点だけでなく、町民にレクリエーションの空間を提供し、良好な都市景観を形成するためにも、公園は町民</p> |

| | | |
|----|-------------------|--|
| | | <p>生活のクオリティを高める重要な施設であると考え、公園施設・遊具の意義と重要性について見解を伺う。</p> <p>(2) 公園施設長寿命化計画に基づく公園遊具等の整備に関する予算が、令和4年度当初予算に計上されていない。その理由を具体的に伺う。</p> <p>(3) 令和4年度中の補正予算で公園遊具等の整備を行う予定はあるか伺う。</p> <p>(4) 公園施設長寿命化計画は令和8年度までの計画である。計画に記載で未実施の阿蘇公園の修景施設（池）等、あいあい公園・もみじ公園・栄公園の遊具等は、計画期間内に実施されるのか伺う。</p> <p>2 子どもの読書活動の重要性について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応や、とうべつ学園の開校に加え、society 5.0時代を見据えた教育環境の激変の中で、子どもの読書活動はこれまで以上に重要となっている。そこで、子どもの読書活動を支える図書館や学校等の体制のさらなる充実に向けて質問する。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 子どもの読書活動の重要性についての見解を伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症のため、町立図書館では閉館中のWEB予約による図書の貸出を火曜日から金曜日の10時から12時に行っていたが、この時間帯とした理由を具体的に伺う。 また、今後同様な事態が起きた場合は、より利用しやすい貸出時間とすることが必要ではないか。</p> <p>(3) 学校図書室では閲覧はできるが、貸出ができなくなっていた。図書館と学校図書室で異なる対応となった理由を具体的に伺う。 また、今後同様な事態が起きた場合には、児童生徒の読書活動への影響をより少なくする対応が必要ではないか。</p> <p>(4) 「当別町子どもの読書活動推進計画（第3次計画）」では、第2次計画にあった保育施設に関する言及がなくなっているが、読書活動推進の重要性や優先度には何ら変わりはないと考えてよいのか。 同様に、学校司書配置について可能な限り配置を目指すという考え方には変わりがないと考えてよいのか。</p> |
| 6番 | 櫻井 紀栄 (一問一答方式) | <p>1 【クオリティファースト】事業実施にむけての予算確保について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>大規模事業など大きな支出がある際に、その年は予算を大きくとられてしまい他の事業の予算を確保できないという現状がある。確実に事業を実施できるように予算の在り方の見直しや新しい仕組みづくりが必要と考える。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 予算が確保できずに事業が実施できていない公園の長寿命化計画や当別小学校のプールの修繕や建替えの検討など今後の対応はどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 確実に事業を実施できるよう積立金方式で予算を計上してみてもどうか伺う。</p> <p>(3) ふるさと納税の用途を町民が提案する仕組み作りを構築し、事業を実施すべきと考えるが考えを伺う。</p> |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>2 【チャイルドファースト】MY 助産師制度による妊娠出産産後の継続ケアについて</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>妊産婦の社会問題である増加する産後うつや子どもへの虐待が深刻化している。決まった助産師がその妊婦に継続的に関わることで不安がなくサポートされて安心できる妊娠中～産後を過ごすことできる MY 助産師制度の導入について伺う。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 厚生労働省母子保健対策関係 令和4年度予算案のなかで「地域における妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援等の推進」とあるが、当別町ではどのように取り入れていくかその考えについて伺う。 (2) 同一助産師による妊娠期からの継続ケアを受けたいという声が多い。継続ケアの重要性についての考えを伺う。 (3) 妊娠中に専門知識をもつ助産師による4回の訪問事業、オンラインによる相談などが24時間できるように産前産後のサポート事業の導入が必要と考えるが今後の展望を伺う。 <p>3 【チャイルドファースト】当別町における読書離れについて</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>年齢が大きくなるにつれ、読書離れが進む傾向が強くなる。ゲームやSNSなどのインターネットに接する時間が多くなり、子供たちが読書に興味関心を持たなくなっていることが大きな原因のひとつと考えられている。子供の発達段階や興味関心を十分に考慮した取り組みや工夫が必要と考える。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ブックスタートのフォローアップ事業が必要とされ読み聞かせ事業が実施されているが、十分な成果が得られなかったと聞く。読書離れを改善するための事業内容が現状の当別町のニーズに応えられるように新しいアプローチが必要と考えるがどうか。 (2) ブックスタートは本に親しむきっかけづくりで最も重要なスタートとなる。10ヶ月の乳幼児へ本を与えるには、育児のサポートにもなる触れあいやすい玩具絵本などを選定することが有効と考えるがどうか。 (3) 子供の本に対する興味関心を持たせるためには町主体の取り組みだけではおぎなえない。町民の自主的な活動を支援していく必要があるがそのような支援をしていく考えはあるのか伺う。 |
|--|--|---|

【計6人、3時間00分（1人30分計算）】